

令和元年度

事業計画書

社会福祉法人 正 仁 会

I. 基本理念

【使 命】

医療と介護の切れ目のない連携を第一に考え、地域社会に安心を提供し続けます。

【基本方針】

私たちは、医療と介護のチームワークにより、皆様の満足を追求します。

私たちは「にのみやグループ」の一員として誇りを持ち、共に尊敬し合える組織を創ります。

私たちは、地域とのパートナーシップを大切にし、その人がその人らしく生活できるよう支援していきます。

私たちは、知識と技術の研鑽と豊かな人間性の向上に努めます。

«基本スローガン»

元気で明るく家族とともに自立支援

～イキイキとした生活作りをお手伝いいたします。～

«平成 31 年スローガン»

“小さな一歩を大切に 歩みを刻む なごみの郷”

II. 道標

昨年の 4 月、第 7 期介護保険計画に基づき、介護保険制度創設以来 6 回目の報酬改定が実施されました。未だ世界のどこも経験したことのない現日本の超少子化・超高齢化・人口減少の課題は今後ますます拍車をかけて進捗していくことが予測されています。国は、団塊の世代が後期高齢期に全入する 2025 年を目途に「地域包括ケアシステム」の確立に向けて全精力を傾けているのが現状です。一方で「高齢社会対策大綱」の中では慢性的な人材不足を解消するための抜本的な基盤強化策を掲げています。社会保障費の増大も踏まえ、私たちを取り巻く状況は年々厳しさを増しています。加えて、当法人の拠点である落合を中心に周りを見回したとき、新設の大規模特養が乱立し、これまでにない老人ホームの雰囲気醸成はじめています。18 年目を歩む当法人拠点もくすみがちで、見た目の衰えを払拭することが叶いません。しかし、このような過酷な環境下においても、理念を携え医療法人と強力なタッグを組んだ介護サービスの展開は、まだまだニーズが衰えることはありません。昨年の介護保険制度改定も在宅や施設で医療と介護の連携を図ることにインセンティブを置いていました。今後においても我々は国が見据える方向性を理解し、でき得る限り加算取得の体制を堅持し、医療法人との連携の下に安佐北区で唯一無二の存在となるよう一歩ずつ努力していきます。

III. 重点課題

① 人づくり（人財確保・定着・育成）

新人事考課制度の導入と実施（個人目標管理、及び考課者と被考課者のコミュニケーション）、本人の自主性を尊重したマネジメント、制度の理解への教育（介護保険制度・社会保障）、医療知識（喀痰吸引実施者の増加）、アセッサーの育成、キャリア段位レベル認定者の育成、マネジメント研修（ガバナンスの強化）、外国人雇用のノウハウ構築

② 医療・介護の連携

- ・ ブランディング（看取りの実践において他に類を見ない法人）
- ・ NPO 法人「地域医療・介護の連携を促進させる会」に参画し、医療・介護連携の地域ネットワークを構築する

③ 知識と技術の研鑽

- ・ 接遇、マナー、社会常識、アセスメント能力等のスキルアップ

④ 『にのみや』に勤務する自負を感じられる組織づくり

- ・ 情報共有、帰属意識の醸成、理念唱和の徹底
- ・ 効率化（マニュアル作成、責任の所在を明確にするためのチーム作り）、時間管理（残業時間管理）、働き方改革（有給消化率の向上、5 日／年）、人事労務管理の透明化）、就業制度の充実（70 歳前後まで働き続ける継続雇用延長・定年延長、兼業許可制度制定）

⑤ 地域との連携、その人らしさの追求

拠点毎の町内会活動や地域活動への参画、近隣学校との福祉的連携、地域包括支援センターとの協働、あいあいねっとフードバンク事業の活性化、季節や嗜好に応じたレクリエーションの活性化

IV. 将来構想

- ① 地域包括ケアシステムの中心的役割を担える法人となる
- ② 地域の「健康寿命の延伸」に寄与しながらも、重度化にも対応できる施設運営
- ③ 「医療・福祉の生産性向上」を図り、24 時間 365 日サービス提供
（可部三丁目の小規模多機能事業の模索）

V. 法人の主な行事

別途作成

VI. 計数計画

別途作成